基本となる施策

05 多文化の人々が共生できる社会をつくる

現状と課題

本町においては、外国人が増加傾向にあり、滞在期間の長期化や人手不足が深刻な分野における雇用拡大等で定住化が進む中、外国人の地域活動等への参加や外国人の教育環境の充実等が課題となっています。外国人・日本人を問わず、全ての町民が共に安心して暮らし、交流を深め、活躍できる多文化共生※の地域づくりを進めていくことが必要です。

また、町内の小中学校においても、外国籍の児童生徒が増加傾向にあり、日本語教育の重要性が高まっています。多言語による情報提供、円滑な就学の促進等を行い、日本人の児童生徒と同じ学校の一員として協力し合っていくことが重要です。

さらに、次代を担う児童生徒に対しては、海外とのオンライン交流を進めるなど、外国語や外国の文化に触れる機会を拡充し、互いの生活習慣や文化の違いを相互に理解し尊重する気持ちを育成していくことが必要です。

◆日本語教室の様子

10 年後の姿

- 外国人と日本人が互いに交流し、理解し合うことで多文化共生意識が向上し、全ての町民が暮らしやすく、活躍できるまちになっています。
- 町内に住む外国人と日本人のコミュニケーションがとれています。
- 国際交流が盛んなまちになっています。

目標指標

指標名	単位	現状値	中間値（2025 年）	目標値（2030 年）
国際理解・国際交流の推進に満足している町民の割合	%	6.1	10.0	13.5

用語解説

※ 多文化共生：国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいう。

主な施策

施策①　多文化共生の推進

●多文化の人々が共生できるよう多言語による情報の提供や交流を推進します。
●町内に住む外国人に対し、日本語教育や日常生活に必要となる情報提供の充実を図ります。
●子どもたちに対し、外国語教育や外国の文化に触れる機会の充実を図ります。

施策②　国際交流・国際理解教育の推進

●海外都市とのつながりを深め、町民の国際理解を深めるため、国際交流を継続して推進します。
●国際交流団体を支援し、国際交流活動を推進します。
●学校や地域において、国際理解教育を推進します。

町民ができること

●外国人・日本人問わず、地域社会の一員であるという認識を持ち、交流を図ります。
●互いの言語や文化を知り、学ぶことにより、相互に理解を深めます。